

---

# 雪風の戦闘マシーン

チョーク4

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雪風の戦闘マシーン

### 【Nコード】

N2560I

### 【作者名】

チヨーク4

### 【あらすじ】

一人の男から全てを奪われた一人の少女。

彼女が呼び出した使い魔は最強の戦闘能力を誇る戦闘マシーンだった。

## プロローグ〈始まりの出会い〉（前書き）

すいません、間違えて連載のはずが短編になっていました。  
もう一度投稿しなおします。

自分の能力の低さを嘆くばかりですorz

## プロローグ〈始まりの出会い〉

その日、ハルケギニアにある小王国、トリステイン王国にあるトリステイン魔法学院の庭では、2年の生徒たちが進級にかかわるある重要な儀式を行っていた。

『サモン・サーヴァント』と呼ばれる、自分のパートナーとなる使い魔を呼び出すための儀式だ。

現在トリステイン魔法学院では、ある一人の生徒が呼び出した使い魔が場を騒がせていた。

その騒ぎの中心である使い魔を呼び出した少女、『雪風』のタバサは普段無表情な顔を珍しく目を白黒とさせて驚いていた。

これが、私の呼び出した使い魔？

目の前にいるそれは博識で知られる彼女でさえも、見たことがない物だった。

タバサが呼び出したもの、それは魔法で作られた人形『ゴーレム』に類似していた。

だが目の前にいるゴーレムは、こちらが見たことも聞いたこともないものだった。

目の前にいるゴーレムは翼と思われるものを持っていないにもかかわらず、宙に浮遊していた。

恐らく何らかの力で浮いているものと彼女は推測する。

そのゴーレムは彼女たちから見てかなり変わった姿をしていた。

頭部にはまるでドラゴンのように二本の角があり、目は一つしかなく、首の部分は妙に長かった。

鋼で出来ていると思われる体は、彼女の髪と同じ、青色系の色をしている。

右手に鉄の棍棒、左手には柄に鳥のような彫刻が施された剣を持っている。

体の下は棘つきの鉄球のような物が胴体の役割を果たしている。胴体の下からはクロスボウが取り付けられていた。

見れば見るほど変わった姿だ。

無駄な装飾という物がまるでない、完全に戦闘に特化したゴーレムだとタバサは判断した。

「おい。あれって、ゴーレム・・・だよな？」

「でも、あんな姿見たことないぞ」

喧騒に包まれる場。

とそこで、

「静粛に！皆さん静粛に！」

という声があったのでタバサは少し上の空気味だった思考を覚醒する。声の主は今回『サモン・サーヴァント』の顧問を務める、少し頭がさびしい教師のコルベールだ。

「・・・ミスタ・コルベール、この場合も契約を・・・？」

静まったのを見計らって、タバサは切り出す。

「そうです、ミス・タバサ。まさかゴーレムが召喚されるとは思ってもいませんでした。せつかく呼び出したのです。さっ、契約を」

「はい」

そう言って、タバサは歩き出す。

ゴーレムは依然として、何もすることをなく、ただこちらの動向を見守っているだけだ。

やがてゴーレムの前に来たタバサだが、ここで問題が浮上した。

ゴーレムの顔には、口にあたる部分がなかったのだ。

逡巡したタバサだが、無理やりゴーレムの顔をつかんで、契約のための呪文を唱えた。

「我が名はタバサ・・・五つの星をつかさどるペンタゴン、このものに祝福を与え、われの使い魔となせ」

そう言って、タバサはゴーレムの顔に口づけをした。

ゴーレムの頭部に、契約の証であるルーンが刻まれたのを確認して、タバサは口を離した。

「……あなたの名前は？」

「……」「ウィーン、プシュッ。」

「……そう、ロビン2って言うの」「

これが、後にハルケギニアの大国であるガリアの王女として即位することになる、雪風のタバサと。

後に、ハルケギニアにその名を轟かすこととなる、幾つもの名のあ  
る武人たちを葬ってきたキラーマシン2の。

最初の出会いであった。

ちなみに。

タバサの後に『ゼロ』の二つ名で呼ばれている桃色頭の少女が、平民の少年を召喚したのは、それはまた、別のお話。



## ブローグの始まりの出会い（後書き）

ご意見、ご感想などをお待ちしております。

俺たった二日の間でどんだけミスしてんだよ・・・orz

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2560i/>

---

雪風の戦闘マシーン

2010年10月10日14時10分発行